

## 3.10.3 研究推進部門 国際推進グループ

グループリーダー 猪木誠二 ほか9名

## グローバルな連携活動の推進

## 概要

海外の研究機関との共同研究、人材交流など、グローバルな連携活動を推進し、ICT分野におけるイノベーションの創出により、社会に貢献する。

情報通信分野を取り巻く環境のグローバル化の進展等に鑑み、海外における国際機関、政府機関、大学及び研究機関との国際連携を推進するため、各種国際会議やイベント等への参加、NICTの活動等に関する情報発信、情報の収集を定常的に行うとともに、フォーラム等の開催、共同研究覚書を締結する。また、海外研究者の招へい、国際研究集会助成などによる人材交流を促進する。

アジア、北米及び欧州地域の各々にある拠点も活用し、研究開発にかかる国際的な取組を積極的に行う。海外拠点においては、国際機関、政府機関、大学及び研究機関との国際連携を推進するため、各種国際会議等への参加、NICTの活動等に関する情報発信、現地情報の収集を定常的に行うとともに、フォーラム等の開催などを行う。

## 平成20年度の成果

## (1) 国際連携活動の推進

- ① 台湾 中華電信研究所、フィンランド ユヴァスキュラ大学、タイ教育省高等教育委員会、韓国電子通信研究院、ドイツ ウルム大学、中国 北京航空航天大学、イタリア ブルーノ・ケスラー財団、ベトナム科学技術省ベトナム研究教育ネットワークとの包括的研究協力協定（MOU）を新たに締結した。また、米国 イリノイ大学、シンガポール先端研究教育ネットワーク、タイ国立電子コンピュータ技術センター、ヨーロッパ高度ネットワーク技術機構との間でMOUの再締結を行った。
- ② 外部有識者による国際交流プログラム審査委員会の審査を経て、2件の国際研究集会への助成及び、6名の海外研究者（インド、チリ、ドイツ、オランダ、中国、タイ）を国内研究機関へ招へいした（内NICTへは3名）
- ③ インターンシップ研修員の学生を6名（韓国、タイ、フランス2名、ハンガリ、中国）受け入れた。
- ④ 来日研究者支援の一環として日本語講座を開講した。また、外国人向けの図書の充実を行った。
- ⑤ 第2回日中ICTフォーラムを主催、日伯地デジ人材育成ワークショップ開催協力などを行った。
- ⑥ アイルランド、タイ、南アフリカ、ハンガリ、中国など多くのVIPが来訪した。
- ⑦ APEC-TEL（アジア太平洋経済協力会議—電気通信ワーキンググループ）でプロジェクトの進捗よく状況報告、情報収集、交換などを行った。

## (2) 海外のICT分野の研究開発動向等に関する調査

海外拠点で収集、調査を行った北米情報、欧州情報、東南アジアなどのICT情報を幹部に上げるとともにWebで公開を行った。

## (3) 海外拠点における国際連携活動

## ① アジア研究連携センター：

ア タイ自然言語ラボ及びシンガポール無線通信ラボの運営支援。海上無線技術を含むITS情報通信国際会議「ITST2008」を開催。東南アジア地域における自然言語講習会ADD4を開催支援。

イ 各研究センター等の東南アジア展開を支援。日タイ間JGN-2実験タイ側ネットワーク整備、衛星きずな（WINDS）タイ側実験協議会立ち上げ提案参画。無線通信ワークショップAP-NeGeMo/WBF（マレーシア、ベトナム、タイ）開催調整、アジア太平洋電気通信共同体（APT）標準化活動参加。ITU Telecom Asia 2008、タイ科学技術展等へ出展。

ウ 東南アジア地域・インドのICT R&D関連の情報収集と動向調査の実施報告。

エ 東南アジアにおけるネットワークや標準時など新たなNICTプロジェクトのインキュベーション機能強化。

## ② ワシントン事務所：

ア 米国政府系研究機関関係者、官民の研究者を招へいして、情報通信セキュリティをテーマとするフォーラムを開催。

### 3 活動状況

イ 北米における情報通信技術の研究開発・標準化動向の調査を実施し、その成果をウェブサイト上で公表。  
ウ 政府間協議、国際機関の会合、シンクタンク主催シンポジウムなど多数の国際会議に参加し、情報収集、意見交換等を行ったほか、NSFやNIST等関係機関との連携強化に寄与。

#### ③ パリ事務所：

ア 欧州における国際機関及び研究機関等との国際連携を推進するため、欧州委員会と「日EU新世代ネットワーク共催シンポジウム」をベルギーにて開催、また欧州委員会が主催する「ICT2008 in Lyon」に出展。

イ 欧州委員会の第7次枠組計画の状況、欧州におけるデジタル著作権管理の動向、デジタル放送の導入の動向、モバイル端末向けサービスや今後注目される技術・ソフトウェアの動向など、我が国でも関心の高いテーマを中心に欧州ICTの動向を調査し、その成果をウェブサイト上で公表。



韓国ETRIとMOU調印  
(2008年12月3日)



ハンガリ科学政策・研究開発担当大臣、横須賀研究所ご来訪  
(2008年10月10日)



EU新世代NW共催シンポジウム  
(2008年6月8～10日)



第2回日中ICTフォーラム  
(2008年7月8～9日)



ITS情報通信国際会議  
(2008年10月22～24日)



ワシントンフォーラム  
(2009年3月6日)